

## 癌化学療法輸液約束処方 胃32

癌種 CLDN18.2陽性胃癌 インフューザーポンプ使用

レジメン名 胃32 Zol+mFOLFOX6

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与時間	投与経路	投与日	投与期間
ビロイ	ゾルベキシマブ	Zol	1コース目 800mg/m <sup>2</sup> 2コース目以降 400mg/m <sup>2</sup>	下記参照	CVポート	DAY1	2週間
レボホリナート	レボホリナートCa	I-LV	200mg/m <sup>2</sup>	2時間	DIV	DAY1	
エルプラット	オキサリプラチン	L-OHP	85mg/m <sup>2</sup>	2時間	CVポート	DAY1	
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5-FU	400mg/m <sup>2</sup>	5分	CVポート	DAY1	
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5-FU	2400mg/m <sup>2</sup>	46時間	CVポート	DAY1~2	

### 【CVポート】

① NS 100ml + デキサート 1.5V + パロノセトロン 1V + アロカリス 1V / 30分 ☆アセトアミノフェン400mg内服

② NS 100ml + ポララミン 1V + ファモチジン 1V / 10分

③ NS 50ml / 5分

④ NS 500ml + ビロイ mg / 下記参照 調製後6時間以内に投与を終了すること

⑤ NS 50ml / 5分

⑥ 5% TZ 50ml / 5分

⑦ 5% TZ 250ml + エルプラット mg / 120分 (同時divあり)

⑧ 5% TZ 50ml + フルオロウラシル mg / 5分

⑨ フルオロウラシル mg

### 【末梢】

⑦と同時

5%TZ 250ml + レボホリナート mg / 120分

5%TZ 50ml / 5分

NS ml 計 ml / 46hr ニプロ シュアーフューザー使用

終了時NS20mlでフラッシュ

【休薬基準】 Gr2以上の血液毒性、非血液毒性

【減量基準】 Gr3以上の血液毒性、非血液毒性

【備考】

① 初回は入院で実施

② 投与速度下記

BSA<1.6	800mg/m <sup>2</sup>	60mL/h→120mL/h→240mL/h	60分毎アップ
	400mg/m <sup>2</sup>	30mL/h→60mL/h→120mL/h	30分毎アップ
1.6≤BSA	800mg/m <sup>2</sup>	80mL/h→160mL/h→320mL/h	60分毎アップ
	400mg/m <sup>2</sup>	40mL/h→80mL/h→160mL/h	30分毎アップ

③ ビロイ投与中の悪心・嘔吐発現時の対処下記

悪心・嘔吐Grade2以上→投与中断 Grade1以下に回復→減速して再開

悪心・嘔吐Grade4以上→投与中止

R6.7.26作成